

GGプロジェクト シイタケイベント報告
植えよう (クヌギ・しいたけ) !
作ろう (バウムクーヘン) !

2月27日(土)、皆様の熱意が悪天候を追いやり、危ぶまれた天候も予報では「夕刻からは雨」。

お陰でならやまは朝から暖かい日差しに恵まれ絶好のイベント日和。スタッフの方たちも予定より早く集合する人が多く、9時前には会場設営完了。

気が逸るのはお客さんも一緒か、9時丁度に受付第一号の家族連れが到着した。

今年で3年目を迎えるGGプロジェクト、年内3度のイベントが予定され、今回はその第1弾。

本来、2月と言えば極寒、余り参加が見込めな



いのが当たり前のこの時期、近在の佐保台小学校からは放課後子供教室の皆さんが団体で参加

してくれ、「奈良市民だより」を見て応募されたお客さんも多数ご参加いただき、小学生児童31名、幼児8名、保護者並びに団体関係者33名、当会スタッフ41名の総勢113名もの盛況となった。

10時、いよいよイベント開始。当会会長とご来賓の挨拶の後、ヘルメットを着用した子供達が意気揚々と我らが里山に入山。山の中では、シイ



タケ菌打ちをするグループとクヌギの植樹をするグループとの二班に分れ作業を始めた。

シイタケが顔を出したホダギを目にした子供達は自分達のシイタケも早く大きくなれと祈る思いで菌打ちに精を出す。クヌギの植樹では名札に自分の名前を楽しく書ける姿がとても印象的だった。それを見守る保護者の方達も子供達の生き生きとした姿に満足そう、里山は笑顔に溢れ子供達

のパラダイスに変貌した。

作業が終わってからの帰り道も敢えて回り道をして里山散策路を探索、自然の中で胸いっぱい美味しい空気を吸いこみ里山の自然を満喫した。

あつと言う間に昼食時間、家族で弁当を広げ、自然の中の食事はまた格別、更に、ならやま名物豚汁が皆さんに振る舞われ、あちらこちらで「美味しい!」「美味しい!」の声。3杯もお代わりしたと言う子まで出現。

食事休憩が終わってからも出し物は目白押し。昼からも二班に分れ、各グループで順番に、バウムクーヘン作り、薪割り、丸太切り、コースター作りを楽しんだ。

バウムクーヘン作りでは、段々ときつね色に焼けていくバウ



ムクーヘンに興味津々、熱い熱いと言いつつ、なかなか代わろう

としない子供達。楽しんでいる気持ちがこちらにも伝わって来る。

自転車道を挟んで南側の緑陰広場では、薪割り機を使っての薪作りに挑戦する子、はじめて手にするノコギリ



に、悪戦苦闘しながらも丸太切りに精を出す子、コースター作りでは、時間を掛けてサンドペーパーで磨きを掛け、出来栄えに

っこりする子、焼印にもその都度歓声が上がった。

最後にはアンケートと引き換えに椎茸ホダギと鹿の折り紙のお土産。

特別賞は抽選で木彫りの「ウエルカムボーイ君」。当たったN君はしっかり抱きしめ大喜び。

スタッフの皆様のご協力を得て今回も素晴らしいイベントとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。(辻本信一)